



基調講演

日本からソマリア危機をかんがえる
～困ったときはお互いさま～

元 UNHCR 協会職員 根本かおる氏



紛争、海賊、誘拐、飢饉のうらがわに、一人ひとりの暮らしがあることを知ってください。現在ソマリア、そして周辺国の人々が直面している状況は、「今世紀最悪の人道危機」といわれた飢饉が終結したとはいえ、あまりにも脆弱な環境です。UNHCRの活動に、皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。



※講演の内容は、後日配布されるDVDをご覧ください。



クラブ活動報告

戸田ロータリークラブ 会長 城戸重子

戸田ロータリークラブの城戸です。どうぞよろしくお願いいたします。早速ですが、今年度の戸田ロータリークラブのテーマは「みんなで・めざそう 真のロータリアン」とさせていただきます。ちょっと抽象的な目標だったので、このテーマを具体的な活動にどうつなげて行くか迷いまして、会員皆様から御意見を聞かせていただき、①例会の充実 ②委員会活動への積極的な参加を柱に決めまして、全員参加を目指して活動をスタートいたしました。



計画書に基づいた活動を予定通り行っておりますが、委員会毎に主な行事を報告させていただきます。

○ロータリー情報委員会

11月と12月、2回に分けて研辺会議を実施しました。きめ細かい会員同志の意見交換ができました。

○出席委員会

前年度の皆勤表彰者16名の方に皆勤賞バッジの贈呈が行われました。出席委員長だった八木橋幾太郎氏が40回皆勤の偉業を達成されました。

○親睦活動委員会

- 12月 浦和ロイヤルパインズホテルでクリスマス家族例会
- 1月 戸田市文化会館で、蕨、戸田西、戸田イブニング、戸田ロータリークラブの4クラブ合同例会を担当クラブとして開催した。
- 4月 バスでのお花見例会、妻沼の聖天様の参拝と深谷の渋沢栄一記念館の見学をする。
- 6月 中華料理店 南国酒家で最終家族例会を予定。

○プログラム委員会

卓話者として一般企業より10名、地区役員・米山奨学生5名、会員6名。現在までの所、大変充実した内容で会員の反応も良く、一体感の持てる時間になっている。

○健康管理委員会

医師の先生方が4名会員の中におられ、会員の健康維持のためいつも適切な助言をいただき、卓話のご協力など、積極的に参加されて大変ありがたく感謝しております。

○ニコニコ委員会

女性の委員長さんを中心に、会員の皆さんも大変協力的で、目標額達成に着手と歩を進めております。

○職業奉仕委員会

職業奉仕月間の10月に、バスで33名の参加を得て、横須賀の軍港めぐりを実施した。また、地区職業奉仕委員長の青木伸翁様に卓話をいただく。

○社会奉仕委員会

1. 菖蒲川の河川浄化活動
6～9月の暑い期間に4回、戸田中の生徒さんと一緒にEM菌団子の投入を行いました。
2. 5月16日に予定されている献血は補助金の申請事業にもなっており、20年以上も継続している戸田ロータリークラブにとって大事な事業です。ここ数年は毎年550名以上の方から献血していただいております。埼玉県でも有数の規模の献血活動となっております。

○環境保全委員会

11月、恒例の道満グリーンパークの花植えを、市内の保育園児と共にいった。ペットボトルのキャップ収集も、地区の集計でも上位の成果をあげている。

○新世代奉仕委員会

ローターアクトクラブ、ボーイスカウト、ガールスカウト、スポーツ少年団、戸田交響楽団への助成を行っている。戸田中央病院を中心に活動しているローターアクトクラブとは、月1回例会にも出席していただき、活動報告もいただいております。年2回の家族例会にも出席していただき、アトラクションに協力していただく等、若い方の活力をいただいております。

○国際奉仕委員会

1. 継続事業であり、補助金の申請事業でもあります、カンボジアの学校に「井戸」を寄贈する事業を行っております。
2. 12月、台湾の板橋ロータリークラブを会員11名で親善訪問しました。前年度にいただいた東日本震災に対するお見舞金のお礼と、次回の姉妹クラブ再結核の打ち合わせのための訪問でした。熱烈歓迎を受けまして、姉妹クラブとして、友情の絆を深めることができました。なお、いただきましたお見舞金は、戸田ロータリークラブの資金と合わせて被災地へ義援金として送金いたしました。
3. 国際奉仕委員会の事業として、国際大会への参加と、韓国水原ロータリークラブへの訪問が予定されております。

○ロータリー財団委員会

地区から要請されている寄附金については、毎年100%達成しております。

○米山記念奨学委員会

今年度はバングラディッシュからの留学生、サーハ・アタヌさんの世話クラブとなり、支援をさせていただきました。大変優秀な学生さんで、日本での就職も決まったということです。

以上、ざっと活動報告とこれからの予定を申し上げます。残された5ヶ月間も気を引きしめて活動して行きたいと思っております。そして年度の終わりに会員全員が「真のロータリアン」に進化できたことを実感したいと思っております。

新春賀詞交歓会

チャリティーカラオケ
「憧れのスレンダー・ガール」
戸田ロータリークラブRC5



2011～12年度地区テーマ
ロータリーに新風を!

国際ロータリー 第2770地区 第12グループ
THE TODA ROTARY CLUB
戸田ロータリークラブ

第12グループ例会場一覧

●蕨 RC	東島大飯店蕨店	火 12:30
●川口西 RC	大和証券川口支店 4階	火 12:30
●戸田西 RC	美鴨信用金庫戸田支店	木 12:30
●川口北 RC	東京信用金庫蕨支店 2階	水 12:30
●川口北東 RC	川口市立グリーンセンターレストラン赤柴	火 12:30
●川口中央 RC	川口そごう 10階タリアルーム	月 19:00
●川口むさし野 RC	川口市立グリーンセンターシャトー赤柴	水 12:30
●戸田イブニング RC	戸田市文化会館 3階	木 19:00

国際ロータリー会長	カルヤン・バネルジー
第2770地区ガバナー	三國 明
第12グループガバナー補佐	川島 健

会報 2011-2012年度 平成24年2月20日発行

本日のプログラム

第2318回例会

2月20日(月) 点鐘 12:30

卓話: ウーマノミクス (女性経済)

コマー流ワークライフバランス戦略
株式会社コマーム

代表取締役 小松君恵様

次回のプログラム

第2319回例会

2月27日(月) 点鐘 12:30

卓話: プログラム委員会担当

戸田ロータリークラブ

創立: 1964年5月25日

例会日: 毎週月曜日 点鐘 12:30

例会場: 戸田市文化会館

〒335-0022 戸田市上戸田4-8-1

TEL: 048-445-1311

事務局: ダイヤメゾン戸田公園1階

〒335-0011 戸田市下戸田1-7-16

TEL: 048-445-2437 / FAX: 048-432-6331

会報制作: 有限会社 雅堂

TEL: 048-989-8228 / FAX: 048-989-8229

info@miyabido.co.jp

会長テーマ: 「みんなで・めざそう
真のロータリアン」

会長: 城戸重子	副会長: 池上良久
幹事: 榎本浩子	副幹事: 磯島栄一

クラブ広報委員会

委員長: 長谷川春一 副委員長: 山川和邦
委員: 永井 悟 金子篤徳 熊木雄太郎 日坂敦夫

戸田ロータリークラブ Web Site

ホームページ <http://www.toda-rc.com/>

Eメール toda-rc1t@sapphire.bforth.com

第 2317 回例会報告

例会日：2012年2月10日（金）

会場：川口リリア 展示ホール

第1部		
セレモニー		
開会点鐘	第12G ガバナー補佐	川島 健 / 川口西 RC
国歌斉唱	君が代	SL 小山賢司 / 川口西 RC
ロータリーソング	奉仕の理想	SL 小山賢司 / 川口西 RC
唱 和	ロータリーの綱領	伊藤幸正 / 川口西 RC
	四つのテスト	福田 昭 / 川口西 RC
物故会員へ黙祷	全ロータリアン	
開会の辞	IM 実行委員長代理	海老原邦延 / 川口西 RC
ホストクラブ P.G 挨拶	パストガバナー	秋山 博 / 川口西 RC
来賓・クラブ紹介	第12G ガバナー補佐	川島 健 / 川口西 RC
ガバナー補佐挨拶	第12G ガバナー補佐	川島 健 / 川口西 RC
来賓代表挨拶	第2770 地区ガバナー	三國 明 / 春日部西 RC
ガバナーエレクト挨拶	第2770 地区ガバナーエレクト	田中徳尚 / 川口 RC
支援金の贈呈	ロータリー財団及び国連 UNHCR 協会	
記念品贈呈	第12G 直前ガバナー補佐	遊馬幸義 / 蕨 RC
次年度ガバナー紹介	第12G 次年度ガバナー補佐	溝上西二 / 戸田西 RC
閉会点鐘	第12G ガバナー補佐	川島 健 / 川口西 RC
第2部		
基調講演	元 UNHCR 協会職員	根本かおる様

第 12 グループ インターシティミーティング

第3部
クラブ活動報告 第12グループ 9クラブ会長

第4部
懇親会・新春賀詞交歓会

乾 杯 乾杯発声 田端宣之 / 川口西 RC
IM 実行委員紹介 第12グループ 各クラブ IM 実行委員
アトラクション チャリティーカラオケ 各クラブ代表
ロータリーソング 手に手つないで SL 奥田 昇 / 川口西 RC
閉会の辞 ホストクラブ会長ノミニール 片岡咲子 / 川口西 RC



ロータリー財団並びに国連 UNHCR 協会へ支援金の寄付
●ロータリー財団ポリオ撲滅2億ドルチャレンジへ10万円
●ロータリー財団アフリカの角救済基金へ20万円
●国連 UNHCR 協会ソマリア支援資金へ10万円

不足という非常事態のため、RIでもロータリー財団が「アフリカの角救済基金」を立ち上げました。そして、この大飢饉に対し世界中のロータリアンから人道的支援を求めています。昨年12月に、日本事務局を通して財団本部にこのプログラムの現状を問い合わせました。その時点で世界中から寄附金が189,627ドル集まっています、まだ使われていないとの事でした。

当2770地区の国際奉仕活動は東南アジア関係が多い様です。住環境をより良く改善する為に困っている人々を支援して、キラキラ輝く瞳で感謝されるのは素晴らしい事でありです。これらの支援も継続していく必要があると思います。また、一方では今回のソマリアの様に住環境の改善以前に自分の命や家族の命の安全を求めている人が居るといった事態の緊迫性、また、370万人の飢餓救済という規模の大きさから RIは大規模で緊急のある人道支援援助の必要性からファンドを立ち上げたものと思います。

先ほど受付でお配りした IM のパンフレットの表紙に小さな女の子の写真が載っています。家族と共にケニアの難民キャンプに逃げたソマリアの少女の写真です。この女の子は故郷のソマリアで何を見てきたのでしょうか。逃げる途中でどんな経験をしたのでしょうか。そして今、何を思っているのでしょうか。明日彼女は何を見ることが出来るのか、または出来ないのか。今回の IM で私たち実行委員はロータリアンの皆様の心の中に小さなキャンドルの炎を灯したいと思えます。

パンフレットの彼女の目をご覧ください。この大きな目を喜びの目にするのも悲しみの目にするのも、皆様の心に灯った愛の炎をどのようにするかにかかっているのをごさいます。

最後になりますが、今回の IM の名前に100万ドルという言葉を入れました。皆様ご案内のようにロータリーの奉仕は、余り物を与える奉仕ではありません。自分でも必要なものを人と分かち合う奉仕です。その為ある種の自己犠牲性が伴います。その自



ガバナー挨拶

第 2770 地区 ガバナー 三國 明

皆様こんにちは。本日の IM 誠にありがとうございます。川島健ガバナー補佐のリーダーシップ、関係者の皆様のおかげで素晴らしい人をお招きして成果の上がる IM になるのではないかと、このように私は尊敬しております。



今日は4部構成になっておりまして、非常に真面目な部分と非常に楽しい部分がございます。

今、お話がありました「アフリカの角」、非常に民族間の争いがあるのですが、イギリス、フランス、イタリアといった列国の支配が長いこと続き、戦後沢山の国になり独立しましたが、そこまではちゃんと面倒見なかった列国、その結果このようになっていのではないかと、私の一方的な考えですが思っております。

今回、川島健ガバナー補佐が「アフリカの角」を取り上げたということは、次年度の RI 会長の田中作次氏のテーマである「平和」にピッタリ一致したテーマでございます。そして今日のご講演も素晴らしい人にいらしていただいて、本当に感謝申し上げます。私達ロータリアンも、報道では聞いてはいるけど中身はよくわからない、そういうことに鑑みてよく勉強させていただきたいと思えます。

さて、この第12グループは、戸田 RC の52人の頭に9つのクラブで構成されております。戸田 RC は50周年を迎えようとしていてとても古いクラブです。その反面、グループ内には10人代のクラブが3クラブあり、メンバーの少ないクラブに特に頑張って一踏ん張り、この三國年度の後半を頑張っていたかと思っております。

しかし、このグループのクラブの規模は大中小ありますが、公式訪問でお邪魔してお話したところによりますと、どのクラブもみんな増強に力を入れ、そしてどのクラブもみんな地区、地域に密着した奉仕活動に精を出して、みんな生き生きしているのが特徴でございます。それから東日本大震災復興支援の取り組みにいち早く立ち上がりましたね。みんな早く立ち上がって支援にまわり素晴らしいと思えます。是非、この勢いを今後も続けて、また繋げて、会員増強も頑張る、そしてクラブの活性化に取り組んで次年度の田中徳尚ガバナー年度に繋げていって欲しい。これが私の願いであります。

今日の IM が勉強になり、楽しくなり、ロータリアンがもっと親交を深め成果を上げられるように心より期待して私の挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。おめでとうございます。



遊馬直前ガバナー補佐へ記念品贈呈



溝上次年度ガバナー補佐挨拶

己犠牲を克服する所に超我の奉仕があるのです。今回 IM の費用として多額の金額を皆様から頂きました。料理その他経費を極力圧縮して余剰金を捻出しました。そしてそのお金を財団や、国連 UNHCR 協会へ寄附をし、アフリカの角支援とさせて頂きました。会場もご覧の通りパイプ椅子です。懇親会の費用も圧縮しました。もしかして IM が終わって多少ひもじさが残るかもしれませんが、しかし、この多少のひもじさがこの少女たちを助けることに繋がっていくのです。皆様から頂いたこの愛情は100万ドルの価値があると思っています。この主旨をご理解頂きまして、限られた時間ではありますが、本日は存分に当 IM をお楽しみ頂ければ幸いです。



ホストクラブ P.G 挨拶

ホストクラブ パストガバナー 秋山 博

皆様こんにちは。今年、私は96歳になりました。

IM とはいつ頃、どの様にして始まったのかを考えてみますと、今から100年前の1912年に、一番初めにできたのはシカゴ RC、2番目はサンフランシスコ RC、3番目はオークランド RC です。サンフランシスコとオークランドとは、サンフランシスコ湾を対して向かい側にあるわけです。特にオークランドというクラブは第3番目のクラブになったことを非常に光榮に考えていました。昔、ロータリーの創立当初は2週間に1回の会合でした。それを毎週やろうと始めたのがオークランド RC なのです。そして現在は、多くのクラブが毎週例会をやることになりました。この2つのクラブが合同例会をやることに決まり、そして初めて行いましたところ、2つのクラブのお互いの知り合いが深まり、そして親交を深め、素晴らしい会合だと、当時の人は「Trans-bay Love Feast」「湾を越えての愛の宴」とあると言って褒め称えました。それ以降、毎年ロータリーはこれを推奨し今日に至っているのであります。

本日はテーマが「アフリカの角」、皆さんご存知だと思いますが、アフリカ大陸の北の東のほうにあるのですが、ソマリア、エチオピア、ケニア3つの国が角のような格好をしているので、「アフリカの角」地帯と言われています。貧しい国の集まりですが、ソマリアが毎年のように危機に遭っております。特に昨年度は、60年間で最悪の干ばつがあり、幼い子供たちが3万人も餓死をしたという痛ましい報告がございました。そこで、様々なところで救援を立ち上げているわけですが、ロータリー財団におきましては昨年、この「アフリカの角」の救援にプロジェクトをつくりました。そしてそれに対する寄付を皆様にお願いたわけてございます。

本日は、我々ロータリアンが出来る限り一緒になってやろうではないかと、財団の1つのプロジェクトでございますから、寄付をすれば勿論クラブのロータリー財団への寄付率、地区の寄付率などに関連してくるわけでありますので、皆様方の心からなるご協力をお願いしまして、この様な IM を企画したわけです。

是非とも皆様今日1日、アフリカの知識を深めていただきたいと思います。そして皆様からの切なるご援助を私からもお願い致します。ご挨拶と致します。